

Information

地域おこし協力隊が着任しました！

鬼北町では、地域力の維持・強化および地域の活性化を図るため、平成26年度から「鬼北町地域おこし協力隊制度」を導入しています。そしてこの度、鬼北町において4人目となる隊員を任命しました。

隊員の活動内容は、道の駅森の三角ぼうしを拠点として、「鬼北町らしい」商品の開発を行う予定です。

問 役場 企画振興課 総合企画係 内線2212



皆さん、はじめまして。この度、地域おこし協力隊として着任しました早川優子と申します。しまなみ海道のスリーデーマーチやシーズンワークに参加しているうちに、愛媛に住みたいと思うようになりました。そんな時、地域おこし協力隊のセミナーで隊員の話聞き、地域に入り何か町のお手伝いできないかと考えるようになり、応募させていただきました。美味しいものを食べることが大好きなので、鬼北町のたくさんの食材を知ってもらいたい、さまざまな形で町の活性化に関わりたいと思っています。まだ、右も左も分からないことだらけですが、よろしくお願いいたします。

Information

「鬼北町地域公共交通網形成計画」成立

「鬼北町地域公共交通会議」は、地域の实情に即した運輸サービス実現に必要な事項を協議するために設置しているものです。委員は副町長、町内各地区の代表者、交通事業者や国、県の各機関から成る合計21人で構成されています。平成29年度は主に「鬼北町地域公共交通網形成計画」を策定するための協議を行いました。

昨年8月に第1回の会議を行って以降、交通事業者との打ち合わせやワーキンググループ会議、複数回の住民説明会を経て、計画の素案を作成し、第2回鬼北町地域公共交通会議(2月26日に書面開催)で承認いただいたのち、2月28日から3月20日まで意見公募手続を行いました。

3月28日、近永公民館2階講堂で、14人の委員の出席により、「第3回鬼北町地域公共交通会議」を開催しました。当会議では、意見公募手続で提案のあった意見を反映した計画案を再度委員の皆さんに示し、ご審議をいただきました。

審議の結果、満場一致で最終承認をいただき、当会議をもって「鬼北町地域公共交通網形成計画」が成立しました。



▲第3回鬼北町地域公共交通会議の様子

今後は、当計画に沿って公共交通関係の施策を進めていきます。早速4月から、代替バス愛治線の直営化や、代替バス屋敷線の予約制への移行、そして、タクシー補助券の日吉地区での試験的導入など、具体的取り組みを進めています。

施策の状況や結果は、広報誌やホームページで公開していきますので、ぜひ、ご覧ください。

問 役場 企画振興課 総合企画係 内線2212